

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(米国FOMC)

2018/11/9

りそなホールディングス 市場企画部



〇概況

- ◆ 政策金利の誘導水準を据え置き
- ◆ 声明文における景気判断では、設備投資が下方修正されたが、全般的に著変無し
- ◆ 12/18-19の次回FOMCでは0.25%の利上げが実施される見込み

- ✓ FRBは11/7-8に行われたFOMC（連邦公開市場委員会）にて、政策金利を据え置いた。
- ✓ 声明文では、設備投資に関し、前回の「強い伸び」から「今年の早い時期の急速なペースから伸びが緩やかになった」と下方修正。他方、景気全般、労働市場、個人消費などは据え置かれ、景気判断に関し、総じて著変無し。また引き続き緩やかな利上げ方針が確認された。
- ✓ 7-9月期GDPは前期比年率 + 3.5%と4-6月期の + 4.1%に続き、堅調な水準。米国の通商政策を巡る不透明感はあるものの、中間選挙は無難に通過。FRBは経済情勢を点検しつつ、問題がなければ四半期毎に利上げを実施するスタンスを維持するであろう。12/18-19の次回FOMCでは0.25%の利上げが実施される見込み。
- ✓ 今回の会合では、パウエルFRB議長による記者会見がなかった。11/29に公表される今回のFOMC議事要旨にて、①貿易問題の影響②いつまで利上げを継続するか③現行のバランスシート縮小の今後の見通しについての議論に注目したい。

【FOMC参加者の見通し（9月時点）】

	FRB見通し（中央値）				
	2018	2019	2020	2021	長期
実質GDP	3.1 ↑	2.5 ↑	2.0	1.8	1.8
6月時点	2.8	2.4	2.0		1.8
失業率	3.7 ↑	3.5	3.5	3.7	4.5
6月時点	3.6	3.5	3.5		4.5
PCEインフレ率	2.1	2.0 ↓	2.1	2.1	2.0
6月時点	2.1	2.1	2.1		2.0
FFレートの	2.4	3.1	3.4	3.4	3.0 ↑
6月時点	2.4	3.1	3.4		2.9

(FFレート見通し内訳-FOMC参加者の人数)

	今後の利上げ回数	2018		2019		2020		2021	Longer run	
		6月	9月	6月	9月	6月	9月	9月	6月	9月
4.125	8回					2		1		
4.000										
3.875	7回						1	1		
3.750										
3.625	6回			1	1	3	6	2		
3.500	2020年末					1		1	1	1
3.375	5回			3	4	4	2	4		
3.250	2019年末					1			1	1
3.125	4回			4	4	1	4	1		
3.000								1	5	6
2.875	3回			4	4		1	3		
2.750									4	4
2.625	2回	1		1	1	2	1	1	1	
2.500	2018年末								1	3
2.375	1回	7	12		1					
2.250									1	
2.125	現在	5	4	1	1		1	1		
2.000										
1.875		2		1		1				
平均値		2.242	2.313	2.958	3.016	3.308	3.281	3.234	2.866	2.883
中央値		2.375	2.375	3.125	3.125	3.375	3.375	3.375	2.875	3.000

 今回FOMCで提示された中央値の利上げベース
 中央値
 【出所】FRB

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。